

	関連するSDGs	概要
適正処理 資源循環		<p>廃棄物は人類が営む上で必ず向き合っていくといけない課題であると考えています。また、廃棄物は「社会を映す鏡」とされており、自然条件、経済条件、社会文化条件が深く関わってくるとされています。加山興業はこれまで廃棄物の適正処理に真摯に向き合い、様々なノウハウを蓄積しています。今後も廃棄物の適正処理に努めながらも更に廃棄物に価値を吹き込み、社会の中で還流していくビジネスモデルを構築することによって、循環型社会形成に努めます。</p>
脱炭素		<p>世界全体で大規模な自然災害が相次ぐなど気候変動に起因する諸問題は、現在進行形で待たないで進行しています。また更なる潜在的なリスクがある中で、事業活動にも影響を及ぼすものであると認識しています。世界で二酸化炭素削減に取り組むことが求められ、日本においても「脱炭素」が掲げられています。加山興業も自社の事業活動における二酸化炭素削減に意欲的に努めていくとともに、お客様やお取引先様とともに推進していくことに努めます。</p>
地球共生		<p>加山興業の事業活動は、地域住民や社会からの理解があつてこそ成立すると考えています。そのためには、多様な社会課題に対してステークホルダーとともに向き合い、一緒に乗り越えていけるように「つながり」を持ち、一緒に取り組んで未来へ「つなげていく」ことが重要であると認識しています。自社の経営資源を最大限に活用し、人や地球に社会的意義のある価値を提供し続けます。</p>
環境共生		<p>地球環境は、人類が所有する最大の財産であるとともに最も重要なステークホルダーであり、未来を生きる人につなげるべき資産であると理解しています。加山興業は、事業活動によって周辺の環境汚染を及ぼすことがないように真摯に対応し、そこに暮らす生物多様性の尊重を図ります。また、自然の恵みを通じて自然と人が共存共栄できる環境作りにも努めます。</p>
労働環境改善		<p>「持続可能な企業」であり続けるためには、一緒に働く仲間である従業員がパフォーマンスを最大限に発揮できる環境を作ることが重要です。それによって、お客様にホスピタリティを込めたサービスを提供することにつながります。従業員にとって重要な要素である「今日より明日へ成長（能力開発）」、「事故のない職場環境」、「ワーク・ライフ・バランス」を提供します。</p>
コンプライアンス遵守		<p>廃棄物処理事業を運営する中で、最も基盤となるのが廃棄物処理法をはじめとする全ての法令を遵守していくことです。公正明大に事業活動を実施していくことによって、お客様やお取引先様に安心・安全なサービスを提供し続けることができます。「ステークホルダーから必要とされ続ける企業」であることを目指し、経営の公正性・透明性の確保及び企業価値の向上のために、企業行動規範に則り、コーポレート・ガバナンスの充実を図ることとしています。</p>